

今月のことば

ぞうきんは
他の汚れを拭いて
自分は汚れに
まみれている
ぞうきんに
なれない私
ぞうきんは仏さま

(小池秀章)

龍谷大学非常勤講師

こいけひであき
小池秀章

教育学者であり、有り難い念仏者でもあった西元宗助氏の『念
仏に生かされて』という書物の中に、次のようなエピソードが
紹介されていました。

「大学を辞める時、学生にお別れの挨拶をした。その時、榎本
栄一氏の『ぞうきん』という詩を黒板に書いた。

ぞうきんは

他のよごれを

いっしょうけんめい拭いて

自分は よごれにまみれている

挨拶が終わって、ある学生が『雑巾のごとく生きていきたい
と思います』と言った。私は、『ありがとう。だけどな、雑巾さ
まにはなれんぞ、わかるか。われわれ人間は、雑巾にはなれない。
この雑巾というのは仏さまのことです。仏さまは、雑巾のごとく、
世の中のあらゆる汚れを一生懸命拭いて、そして、自分は汚れ
にまみれていく。世の中を清めていく』(筆者要約)

「雑巾のように生きたい」という心は尊いけれど、そうなれな
い自分がいます。そのような私たちは、雑巾のような仏さまの
はたらきと、そのお心を、忘れないで生きていくことが、大切
なのだと思います。

合掌